



平成27年5月24日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ:http://www.tfd.metro.tokyo.jp

主な掲載内容

<1面>命を守る家具転対策 家具転対策をしていないと起こる3つの危険 手軽にできる家具転対策の方法
<2面>東京消防庁救急相談センター 東京版救急受診ガイド こんな症状はすぐに119番!
危険物安全週間 ミニコラム プレゼントコーナー

地震から

命を守る家具転対策

家具転対策とは、家具類の転倒・落下・移動防止対策の略です。

家具転対策をしていないと起こる3つの危険

けが

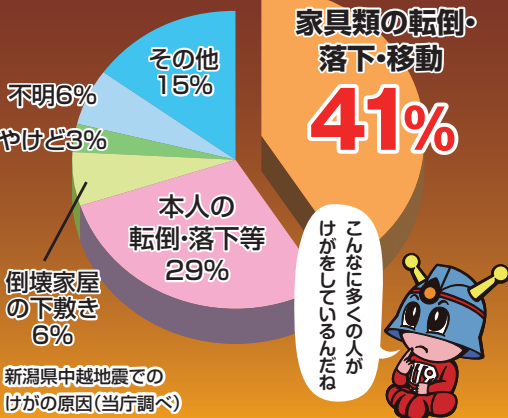
地震時に3割~5割の人が、直接家具等が当たったり、つまずいて転んだり等でけがをしています。

火災

家具等がストーブ等を倒して、火災を引き起こす場合もあります。東日本大震災では、都内で32件の火災が発生しました。その多くが家具等の転倒・落下・移動によるものでした。

避難障害

出入口付近に家具等を置いていると、転倒した家具等が出口を塞ぎ部屋から出られなくなります。家具等を置く場合は置く向きに注意が必要です。



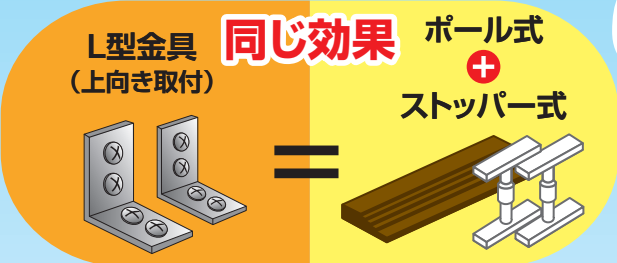
(平成7年 阪神・淡路大震災)



手軽にできる家具転対策の方法

器具を組み合わせると、壁等を傷つけずに家具転対策ができます。

家具転対策で効果が高いのはL型金具等ネジで固定することです。賃貸住宅や大切な家具等にキズをつけたくない場合は、例えばストッパー式器具とポール式器具等2つ組み合わせることでネジ固定と同等の効果を発揮します。



マンションで壁に穴を開けられなくても組み合わせたら安心だね!



もっと詳しく知りたい方へ

- ねじを使ってしっかり取り付けたい方
- 家の家具等全部に取り付けたい方
- いろいろな家具等や家電の固定方法を知りたい方
- 職場の家具等を固定したい方



上記の方々には家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブックを参照してください。当ハンドブックは、全ての消防署にありますのでご利用ください。また、東京消防庁ホームページ(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>)にも掲載してありますのでご覧ください。

携帯電話とスマートフォンはこちらから



助成制度について

区市町村では、高齢者や障害者世帯に対し、対策器具等を無料や少額で取り付けする事業をしている場合があります。対象としている方や助成制度の内容については、各区市町村で違いますので確認してください。

家具類の転倒・落下・移動防止対策は大切です

